留学生の日本語ライティング授業における「話しことばチェッカー」の実践報告
–初中級の学習者を対象に–

岩井智重（神田外語大学）

UeLA フォーラム 2024 及び JADE & UeLA 合同フォーラム
2025年3月04-05日

目次

１．対象者について
２．課題について
３．授業構成ついて
４．検出結果（使用事例）について
５．アンケート結果
６．まとめ

対象者

１．提携大学の交換留学生

学年　　：3年生もしくは4年生

２．留学期間　　：半年～1年間

３．日本語レベル：初中級（初級後半～中級前半）

４．国籍　　：タイ2名、韓国1名、メキシコ1名

ポルトガル1名　計5名

対象者

５．2024年度秋学期のライティングの授業内で実施
（週1回/90分授業）

事前に、授業の課題として「だ体」の作文を
４つ書いている。
「だ体」で文章を書く練習はしているが、
「です・ます体」の文がいくつか含まれる
ことがある。

対象者

５．2024年度秋学期のライティングの授業内で実施
（週1回/90分授業）

また、授業において書き言葉も学んでいるが、定着はしていない。そのため、文章の中に「話し言葉」が含まれる傾向がある。

課題：報告文を書く

１．作文の中に何か調べたことを含めて、報告文を書く
２．「だ体」で書く
３．書き言葉を使用する
４．６００字～８００字で書く

授業構成

１．報告文のテーマを決める
２．情報収集
３．構成を考える
４．報告文を書く
５．報告文を書き直す
（話しことばチェッカー）

課題：報告文を書く

テーマ：「日本に来て、気になったこと」

① 酔っ払いについて
② 小さい子も一人で学校に行くのはなぜか（危なくないのか？）
③ 略語が多いのはなぜか
④ 日本の「頑張る文化」について
⑤ 日本の公共交通機関の料金が高いのはなぜか

報告文を書き直す

１）クラス全体で「書きことば」を確認

↓

２）学習者自身で「話しことばチェッカー」使用

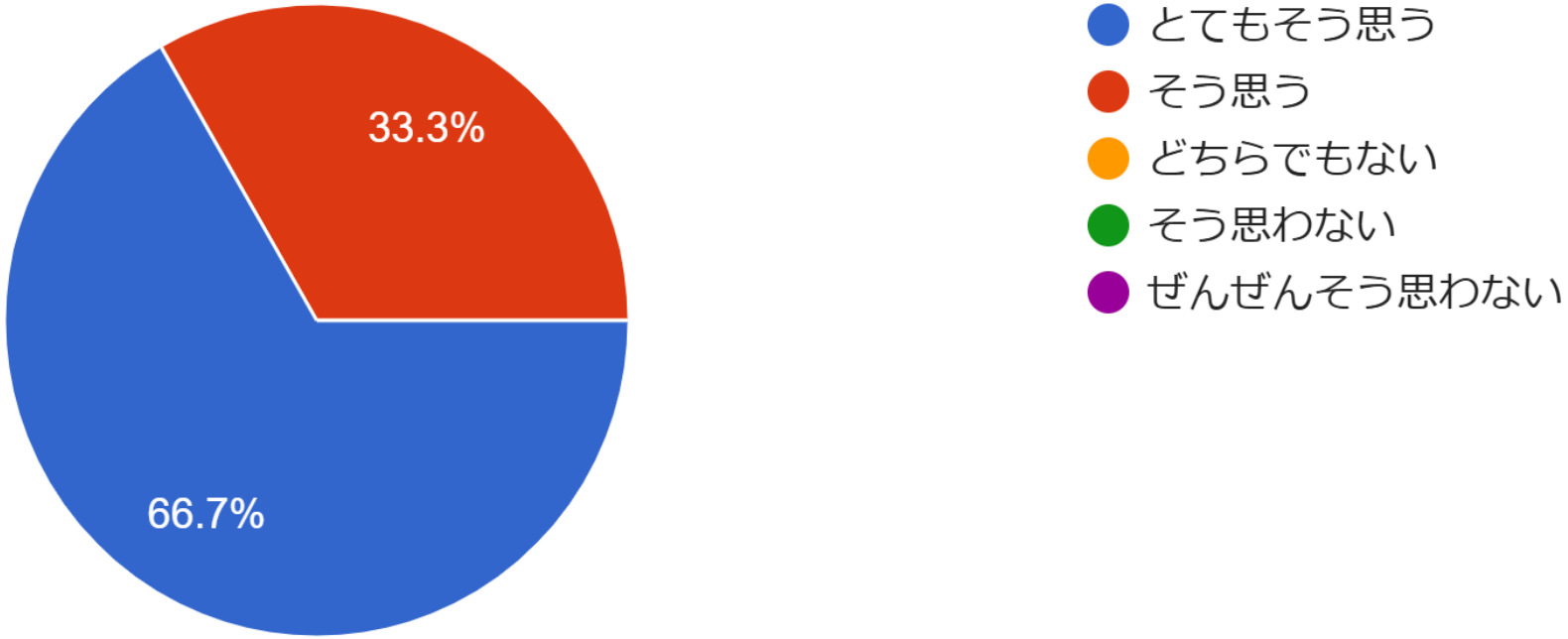
↓

３）再提出

アンケート結果１（５件法）

１．「話しことばチェッカー」は使いやすいですか？

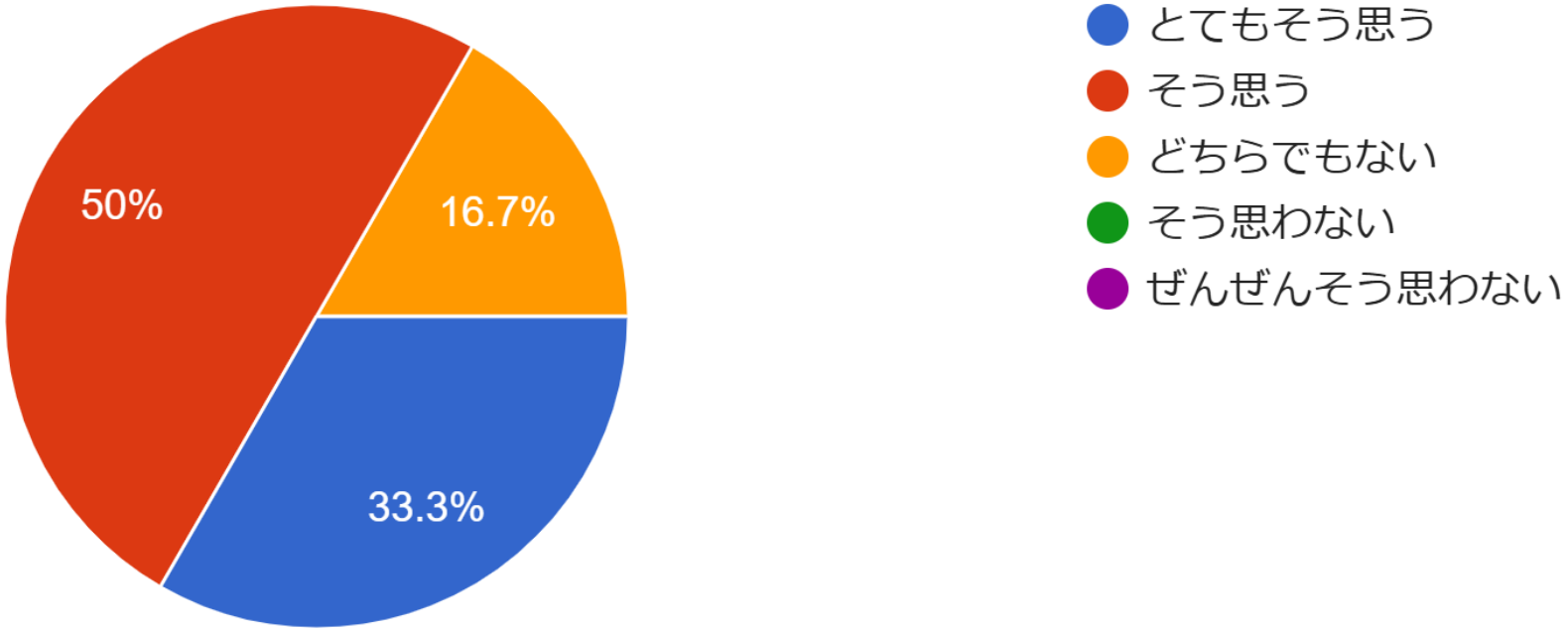
6 件の回答



アンケート結果２（５件法）

２．「話しことばチェッカー」の修正案は、分かりやすいですか？

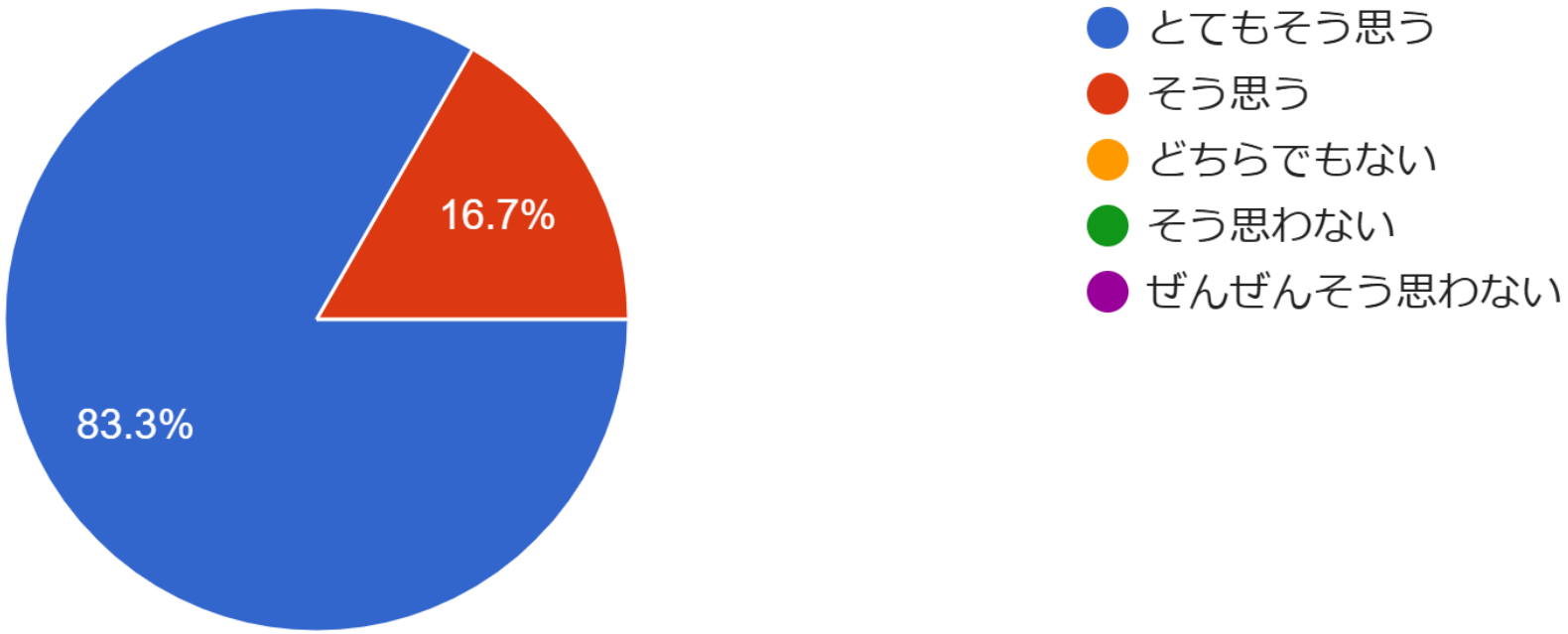
6 件の回答



アンケート結果３（５件法）

３．「話しことばチェッカー」で検索をした後、話しことばは減りましたか？

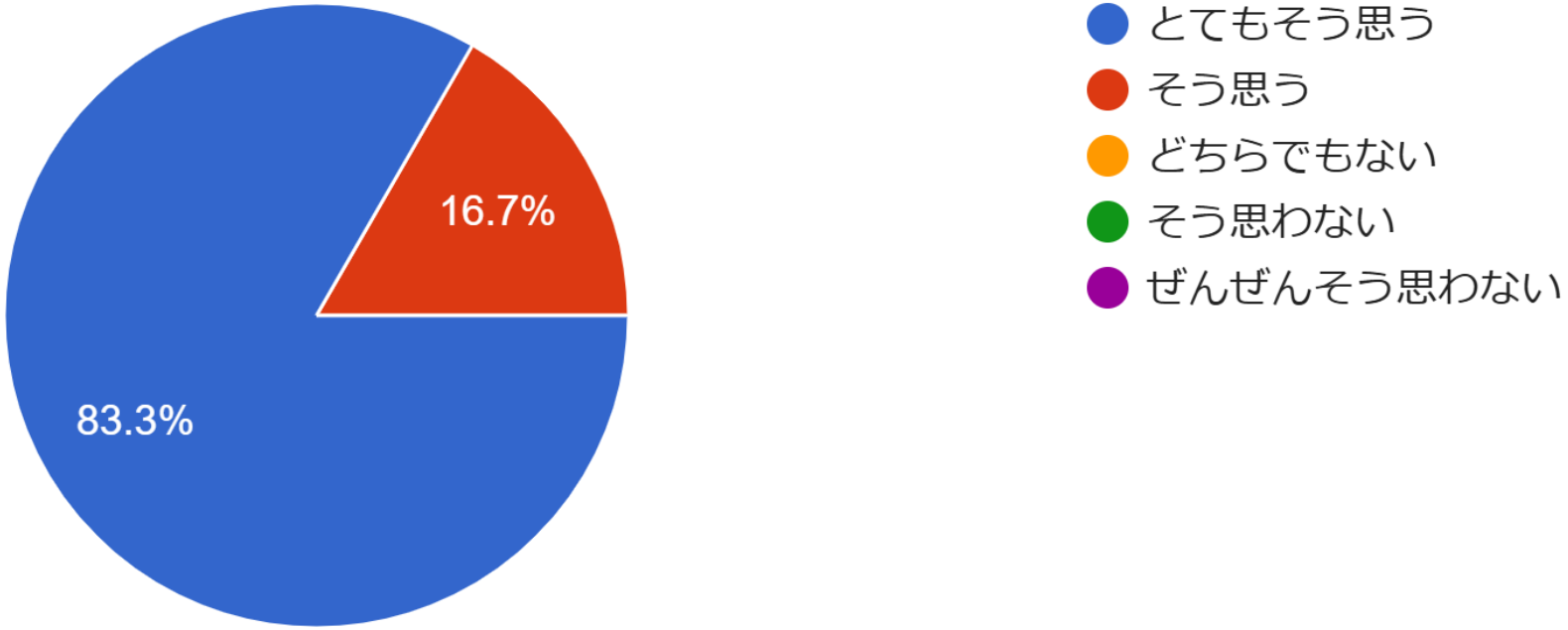
6 件の回答



アンケート結果４（５件法）

４．今後、「話しことばチェッカー」を自分で使いたいですか？

6 件の回答



まとめ

初級後半～中級前半の日本語学習者にとっては、「書きことば」はまだ定着していないため、普段使うことの多い「話しことば」を文章の中でも使用する傾向が強い。

だが、「書きことば」の学習はしているため、「話しことばチェッカー」で指摘してもらうことで、学習者自身で修正することはできる。

まとめ

　アンケート結果から、学習者は「話しことばチェッカー」を概ね好意的に受け入れていた。

　また、「話しことばチェッカー」で検出された箇所を修正した後の報告文には、「話しことば」はほぼ含まれていなかったことから、効果が見られた。

まとめ

1点、気になったコメントを紹介する。

学習者の中には、「話しことばチェッカー」の検出で出てくる「コメント」が難しく理解が困難であったとコメントしていた。

留学生の日本語レベルにもよるが、初中級レベルの学習者には、コメントの内容理解に困難が見られた。留学生の使用を考えた場合、コメント欄の日本語に留意する必要があることが分かった。

ご清聴ありがとうございました